

# 色材協会誌執筆の手引き

## 1. 執筆の準備

- 1.1 必ず「色材協会誌投稿規定」を読んでから執筆する。
- 1.2 最近の色材協会誌の体裁に従い、特に同じような論文や資料を参考にして書く。

## 2. 原稿の書き方

### 2.1 題目、著者名、所属等

2.1.1 原稿用紙の第1ページ目に題名、英文題名、著者名、ローマ字著者名、所属機関名、および所在地を書く。続報の場合には脚注に前報を雑誌名、巻[号]、ページ(西暦年)の順に書く。

研究論文、技術論文、総合論文、ノートおよび速報の英文要旨には上記を英文で記載する。

2.1.2 著者名のローマ字はヘボン式とし、名、姓の順に表記する。特に訓令式その他でなくてはならない場合には、投稿時にその旨を書面で申し出るものとする。

### 2.2 書式

2.2.1 原稿は原則として黒色で印字する。

2.2.2 印字する場合、和文については28字×34行とし、右側に5 cm位の余白をとる。英文については上下左右の余白を3 cm程度とり、原則として2行送り(ダブルスペース)で印字する。右側の余白には、図・表の入る位置を指定する。

### 2.3 漢字、かな

漢字は常用漢字を用い、かなはひらがなを用いる。ただし、日本語化した外来語はカタカナ書きとする。また外国の地名、人名、外国書籍名などは原則として原綴り(できるだけ英綴り)を使用する。

### 2.4 術語

使用する術語は原則として、文部省編「学術用語集」、日本化学会編「化合物命名法」、日本化学会編「化学便覧」やJIS(いずれも最新刊版とする)に従う。

### 2.5 章、節、項等の表記

1. 2. 3. (章)(2行どり、中央に)。1.1, 1.2, 1.3 (節)(1行どり、左端に)。1.1.1, 1.1.2, 1.1.3 (項)(1行どり、左端に)。a. b. c. (小見出し)(左端2字あけて本文を続ける)。(i), (ii), (iii) (小見出し)(左端2字あけて本文を続ける)。

### 2.6 図表

2.6.1 本文中では右図、次表、上式などの誤りやすい表現を避け、必ず表-1, 図-1, 式-3のように具体的に明記する(英文の場合は, Table 1, Fig. 2のように)。

2.6.2 図表は1枚ごとに用紙右肩に、原稿題名、著者名を書く。図面・原図は原則として1/2位に縮尺してそのまま製版するので、2倍の大きさに書く(研究論文、技術論文、総合論文ノートおよび速報に関して、原図がそのまま印刷できない場合は版下製作費を申し受ける)。刷り上がりの寸法基準は左右8 cm。

図中の記号はなるべく簡単なもの(○, △, □, ◇, ●, ▲, ■, ◆など)を使い、複雑な記号(たとえば×, ★, ※, ▣など)の使用は避ける(図面原稿の書き方参照のこと)。

2.6.3 表の説明は表の上を書く。図と写真の説明は、別紙にFigure Captionとしてまとめる。

### 2.7 単位、記号

2.7.1 単位、記号などは国際単位(SI)に従うこと。色材協会ホームページを参照。また文中の分数式は $\frac{a}{b} \log \frac{c}{d}$ と書かないで $(a/b) \log (c/d)$ と書く。

[例]

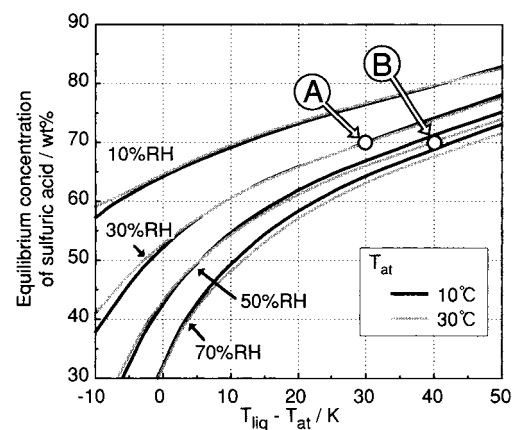


Fig.3 Equilibrium concentration of sulfuric acid plotted against temperature difference between liquid phase ( $T_{liq}$ ) and atmosphere ( $T_{at}$ ) at various relative humidities. (森他, *J. Jpn. Soc. Colour Mater.*, **71**, 619 (1998))

2.7.2 単位記号の表記法は次のようにする。  
 図中では例に示した通り「/」を付して表記する。

[例] Time / s, Concentration / wt %

## 2.8 文献

2.8.1 文献の引用は引用箇所の肩に<sup>1,2,3-6</sup>などをつけ、文献を本文末にまとめて書き、脚注は\*<sup>1,\*2</sup>の記号を用い、原稿用紙のそれぞれのページにまとめる。

2.8.2 文献（引用文献，参考文献）は次のように書く（この場合、日本人の著者名は姓名（フルネーム）を外国雑誌略号は Chemical Abstracts を参考にして書く）。

[例]

### 雑 誌

- 1) 寺田 勝，青木弘行： *J. Jpn. Soc. Colour Mater.*, **79**, 100 (2006).
- 2) 蒲田 稔：防食技術， **27**, 469 (1978).
- 3) R. W. Hislop, P. L. McGinley : *J. Coat. Technol.*, **50** [642], 69 (1978).

### 単行本

- 3) 武内次夫，柘植 新：“高分子の熱分解ガスクロマトグラフィー”， p.87, 化学同人（1977）.
- 4) N. I. Gaynes：“Testing of Organic Coatings”， p.92, Noyes Data Corp.,（1977）.

### 特 許

- 5) 特公昭 53-12345. 特開昭 53-45678.  
 Ger. Offen 2,652,383. U.S.P., 3,839,253.

[外国雑誌略記号 例]

雑 誌 名	略 記 号
American Paint & Coatings Journal	<i>Am. Paint Coat. J.</i>
Chemical Abstracts	<i>Chem. Abstr.</i>
Deutsche Farben-Zeitschrift	<i>Dtsch. Farben-Z.</i>
Farbe und Lack	<i>Farbe Lack</i>
Industrial & Engineering Chemistry Research	<i>Ind. Eng. Chem. Res.</i>
Journal of Applied Polymer Science	<i>J. Appl. Polym. Sci.</i>
Journal of the Oil and Colour Chemists' Association	<i>J. Oil Colour Chem. Assoc.</i>
Modern Paint and Coatings	<i>Mod. Paint Coat.</i>

## 2.9 文字フォント，文字飾りの明記

イタリック体，ギリシャ体，ゴシック体，上付き，下付き添字，ルビ文字，記号などは原稿上にわかるように指定して提出する。

## 3. 原稿収録電子データの提出

### 3.1 J-STAGEによる投稿

投稿はJ-STAGEの電子投稿システムで受け付ける (<https://www.editorialmanager.com/shikizai/>)。まず，著者情報を入力し，IDとPass wordを決める。その後，投稿情報を入力し，投稿データ（本文，図，表，Figure Caption等）を転送する。転送の際に投稿データはすべてPDFファイルに自動的に変換される。

### 3.2 郵送による投稿

原稿の審査が終了した段階で，原則としてその原稿を収録した電子媒体（CD，DVD等）を提出する。その際，図・表は別ファイル（Excel，PowerPoint，Illustrator等）に入れる（図・表は取り込み可能な場合のみで可）。

- (1) 本文データは，原則としてMS-Word等とするが，この形式で提出できない場合は，使用機種，ソフトを明記して提出する。
- (2) 文章中で使用する句読点は，和文では「，」「。」英文では「,」「.」とする。

## 4. 原稿送付先および問い合わせ先

〒113-0034 東京都文京区湯島3-20-12 第2ツナシマビル（日本印刷内）色材協会 編集室  
 TEL 03-3833-6488 FAX 03-3833-6489 E-mail : shikizai@npc-tyo.co.jp